

親が元気になることをめざして

子育て

ドキドキ
ワクワク
イキイキ



親の笑顔が
子どもの笑顔をつくる

家庭とは？

子どもが家で身に付けたことは、生涯、ずっと生き続ける。

◆ 子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思いますか？

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子どもたちに聞いたところ、どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。

必要なモノさえ与えていれば子どもは育つ、と思えた時代もありましたが、いまや楽しい家庭は、家族が意識的に協力し合わなければなかなか得られません。

子どもにとって心安らく居場所になっているかどうか、家庭を見つめ直してみましょう。

◆ 自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない

子育ては大事ですが、一日中、わき目もふらずに集中しては疲れてしまいます。親のイライラは、子どもにも伝わっていくものです。

大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦で助け合ったり、子育てサポーターや子育てネットワークといった育児を手伝う仲間や仕組みを活用したりして、リフレッシュする時間をつくりましょう。

親が幸せで笑顔でいる家庭でこそ、子どもも幸せを感じられます。

◆ これまでの常識では通用しない問題が増えている

子育てに対する不安、子どものいじめや不登校などで悩みを抱えたとき、配偶者や親、きょうだい、友人などに相談することが多いと思いますが、それだけでは解決できないときもあります。社会の急速な変化や家庭の多様化から、これまでの教育や子育ての経験だけでは適切な助言が難しい問題も多いからです。そういうときは迷わず専門家に相談しましょう。

学校の先生、スクールカウンセラー、家庭教育相談、教育センター、警察の少年相談窓口、児童相談所、精神保健福祉センターなど様々な相談機関があります。それぞれの特色を知り、相談内容にふさわしい機関を選び、勇気を出して相談してみましょう。

- 「少年非行に関する世論調査」（平成 22 年 内閣府）から
- 少年非行を防止するために、特に大きな役割を果たすのはどれか⇒家庭（76.4%）、地域社会（12.9%）、警察などの行政機関（5.2%）、学校（3.7%）
 - 少年を非行に走らせないようにするために、保護者はどのように対応すればよいと思うか⇒子どもと話をしたり接する時間を増やす（67.1%）、褒めるべきことはきちんと褒め、叱るべきことはきちんと叱る（65.1%）、子どもの気持ちや言い分を聞く（46.7%）、子育てに責任感を持つなど親としての自覚を持つ（44.0%）、家族が協力して子育てを行う（40.8%）（複数回答、上位 5 項目）
 - 少年を非行に走らせないようにするために、地域社会の住民はどのように対応するのがよいと思うか⇒よその家庭の子どもであっても悪いことをしたときは叱る（50.2%）、日頃から地域の少年に声を掛ける（46.9%）、近所付き合いをし、家族同士の交流をする（45.8%）、少年が遊んだり、スポーツをするなどの様々な体験をする機会を作る（29.9%）（複数回答、上位 4 項目）

子育てに悩みはつきもの お悩みママのつよ〜い味方
子育て電話相談 すこやかダイヤル
☎0198-27-2134
受付時間 平日 10:00~17:00
(岩手県立生涯学習推進センター)